

2022年12月27日

鉄 道 博 物 館

鉄道博物館における新型コロナウイルス感染者の発生について

12月27日（火）、鉄道博物館の一部運営を受託している事業者の接客スタッフ2名が、新型コロナウイルスに感染していることが判明いたしましたので、以下の通りお知らせします。

1. 当該スタッフの業務状況

- (1) 鉄道博物館にて、12月24日（土）に案内補助業務（鉄道ジオラマ、車掌シミュレータ）に従事した運営事業者のスタッフ1名が、12月27日（火）、新型コロナウイルスに感染していることが判明しました。

※12月25日（日）以降は勤務に就いておりません。

- (2) 鉄道博物館にて、12月25日（日）に案内補助業務（ミニ運転列車、ゲート、鉄道ジオラマ、キッズプラザ）に従事した運営事業者のスタッフ1名が、12月27日（火）、新型コロナウイルスに感染していることが判明しました。

※12月26日（月）以降は勤務に就いておりません。

※ 当該スタッフ（両名とも）は、業務中はマスクを着用し、アルコール消毒等の感染拡大防止策を行ってまいりました。

2. 対応状況

- ・当該スタッフが勤務していた館内の関係箇所の消毒を行いました。

3. 今後の対応

- ・鉄道博物館は通常通り営業いたします。
- ・当館は平時より、「博物館における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」（公益財団法人日本博物館協会）に従い、館内の清掃・消毒作業を行うとともに、入館券の事前購入制、展示物の抗菌加工をはじめ、スタッフのマスク着用や手洗いの徹底等の対策を行い、お客さま及び職員・スタッフの安全確保を最優先に、新型コロナウイルス感染防止対策に取り組んでおりますが、本事象を鑑み、引き続き徹底を図ってまいります。